平成30年３月定例会　一般質問通告事項　３月２日（金）

※一人の持ち時間は執行部の答弁を含め60分で、午前10時から始まります。

１番　柴山　恭子　　議員

１．ダムの治水計画検証について

(1) 国土交通省・独立行政法人水資源機構の動き

(2) 梅雨前貯水量の考え方 寺内ダム洪水調整容量の検証

(3) 市民の生命と財産を守る行政機関としてどう防災に対応するのか

２．防災対策について

(1) 梅雨に向けて避難訓練の計画はどのように行うのか。甘木・朝倉・杷木それぞれの地域性を踏まえた基本的なことを把握・方針を出すべきではないか

(2) 避難所開設についての権限と責任 コミュニティ管理費などの考え方

(3) 市民一人一人が災害からどう身を守るかを自主性に任せるだけでなく具体的行動を指示すべきではないか

(4) 職員の作業日報について

３．学校教育について

(1) 教職員の合理的な配慮とは

４．コミュニティについて

(1) 予算配分・人員の考え方

２番　佐々木　明子　　議員

１．平成29年７月九州北部豪雨災害復旧・復興について

(1) 避難世帯への情報伝達について

(2) 災害公営住宅・公営住宅の整備について

(3) 掘削土砂等搬出工事車両の運行について

(4) 出水期を控えた二次災害防止対策について

(5) 災害時の避難場所の検討について

(6) 地域支え合いセンターについて

～　昼　食　～

３番　冨田　栄一　　議員

１．杷木新設小学校と池田川「10年に１度の降雨量対策」について

(1) 議場では「広辞苑引いて進めて通るような言葉では話してない」「万全の策」を災害後どう進めるのか

(2) 平成29年４月開校していたら

２．激甚災害査定について

(1) 査定までの反省と事業実施組織体制について

(2) 積み残し事業について

(3) １回も開いていない復旧住民説明会について

３．二次災害対策について

(1) 梅雨までにできること

(2) 平成３年台風災害のように自衛隊派遣お願いについて

４．朝倉市復興計画について

(1) 第２回復興計画策定委員会議事録から

(2) なぜ集落会議が自発的にできたのか

４番　大庭　きみ子　　議員

１．平成29年７月九州北部豪雨災害復興について

(1) 長期的課題について

① 人口減少への対応

② 地域の将来を担う人材の確保・育成

③ 地域経済社会の活力の維持・拡大

④ 市町村の枠を越えた広域的な地域振興

(2) 復興基本計画を進めるにあたっての視点について

① 若者・女性等の参画による地域づくり

② コミュニティ・民間・ボランティア等との連携・協働について

③ 朝倉市復興計画推進委員会（仮称）について

２．平成30年４月からの組織機構について

(1) ４月からの職務体制について

(2) 職員の健康管理について